

## ■ 学問学 ■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 104 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

### 104 目次

1. トピックス：学問学
2. 今週のお知らせ：ソーシャル不動産プロジェクト 協力者募集中！
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

#### 1. トピックス：学問学

今月から始まった「ニッチ大学」は、毎月第 2 土曜日にさくまさんちで開催する学びのイベントだ。そこでは誰もが先生になり、自分の学んだことを講義形式で発表することができる。先日、第 2 回目に向けた準備のため、メンバーの N 大生たちと作戦会議を行なったのだが、H 君から「僕は心理学や哲学に興味があり、前回“アドラー”について話をしたのですが、力不足で話がうまくまとまらず、次回以降どうしたらいいか悩んでいます」と言う相談があったので、僕は学問について少し話をした。

そもそも学問とは、教えるためでなく学ぶための道具のはず。哲学だって、偉い哲学者の考え方を誰かに教えるためでなく、それをヒントに自分が考えるためにあるはずだ。でも、学校ではそれをきちんと説明しないから、多くの人がせっかくの学問をスポーツと勘違いして、単なる競い合う道具にしてしまっている。学問にはあらかじめ正しい答えがあり、それを素直に受け入れて、問いに応える訓練が繰り返される。だが、僕は 60 年生きてきて、学問がいかにもいい加減で変わりやすいものかを知っている。新しい発見がなされた瞬間に、それまでの正解が間違いに変化する。そもそもそれを教えるのは、受け売りで説明する「先生」だ。そんな又聞きの情報でテストされ、その成績で評価されるのも問題だが、それで一喜一憂する学生はもっとまずい。

学問は、他人とは違うことをやるために、それぞれ違うことを学べるよう、人類が生み出した道具だと僕は考える。実は、「国語・算数・理科・社会」などの教科は、ほぼ世界共通だそう。もちろん学問の歴史は古く、優れた学問が世界に広まったためだと考えることもできるだろう。だが、これほど多様な世界において、ほぼ万国共通の教科で教育が行われているということは、この教科に人類共通の普遍性があると考えた方が自然だと思う。例えば日本における「国語」は、「日本の学校教育において、日本語および言語表現の理解、言語による表現方法

の獲得などを目的として行われる教科(wiki)」と解説されるが、後半の「言語表現の理解、言語による表現方法の獲得」にある通り「言語による表現」を学ぶことがその普遍的な役割だ。だとすれば、この世界には「言語以外による表現」があるはずだ。そうだ、「美術や音楽」がまさにそれに該当する。

こんな調子で教科を見ていくと、その普遍的な役割が次々と見えてくる。「算数」は数学の入門編と位置付けられるが、数や図形などの抽象概念を考え作る教科だ。だとすれば、具体的に考え作るのは「技術」ではないだろうか。「社会」は歴史、政治、経済、地理など世界における人の営みについて学ぶ教科だ。それでは、世界における人以外の営みとは何かと言えば、生物、物理、化学などを扱う「理科」が考えられる。そして、「保健体育」が人体そのものの動きや健康について学ぶ教科だとすれば、人体以外の暮らしを学ぶのが「家庭科」ではないだろうか。こうして世界を「表現と言葉」、「思索と抽象」、「世界と人間」、「生活と人体」の4つに分け、それぞれについて「国語・美術」、「数学・技術」、「社会・理科」、「保健体育・家庭科」の8教科が対応しているとすれば、これはまさに人類が考え出した「学びの道具」に他ならない。

確かに義務教育の中学校までは、教科書に沿ってこれらを学ぶのだが、それは教科書の中身を学ぶためでなく、それらの教科の使い方を学ぶべきだと僕は思う。例えば野球の好きな子供には、野球部に入ることを大人は勧めるが、いくらまじめに練習しても試合に出られるのはごく一部で、大多数は練習と応援だけの控えの選手で終わってしまう。だがこうした野球は、極端に言えば「体育の野球」に過ぎない。僕が子供たちに言いたいのは「君は本当に苦手な体育の野球をやりたいのか、本当に興味があるのは、国語の野球や理科の野球かも知れないぞ」ということだ。実際、高校野球のマネージャーはプレイをせずに「家庭科の野球」をやっている。プロになれば、データ分析で野球を数学する人や、理科に取り組むコーチや技術に取り組む道具メーカーの開発者だっている。

僕は、このささやかな議論を「学問学」と名付け、機会さえあればいつも若者に説明する。学問は自分のやりたいことを学ぶための道具であり、中学卒業後は自分で教科書を作ればいい。基本8教科は、単なる初歩の入門編で、そこから自由に発展させればいい。「だから、君はアドラーの哲学を使って君自身の哲学を考えただけのこと。アドラーでもフロイトでも、自由に使って構わないよ！」と、僕はH君に説明した。すると、隣に座っていたS君が「じゃ、僕がフロイトになって議論してみたい」と言い出した。いいぞいいぞ。アドラーH君が、フロイトS君をゲストに迎えて対談する。ニッチ大学、ますます面白くなってきたぞ。

<http://nanoni.co.jp/20170423-2/>

.....

## 2. 今週のお知らせ：ソーシャル不動産プロジェクト 協力者募集中！

4/17、いよいよ日本財団の「ソーシャルイノベーションフォーラム 2017」の受付が開始され、日本土地資源協会として、エントリーの準備に取り掛かりました。当協会の目的は我が国を「土地資源大国」にすることで、そのためには枯渇しつつある土地資源の調達と供給に取り組まなければなりません。そこで今回は、いわゆるビジネスコンテストに、僕自身がプレイヤーとしてエントリーして、この事業の普及・啓発、そして分野を超えたチーム作りに挑むことにいたしました。今日は、細かいご説明は省略し、わかる方だけに対するお知らせです。この取り組みを通じて僕と連携して下さる方を、広く募集したいと思いますので、気軽にお問い合わせください。ご連絡をお待ちしています。

Mail [post@land-resource.org](mailto:post@land-resource.org) (担当:松村)

.....

### 3. まつむら塾

#### ■開催予定 講義+演習

- ・日程 4/27、5/11,15 (第2,4木金曜日) 19-21時 笑恵館
- ・その他会場募集

まつむら塾を開催させていただき会場を募集しています。会場提供者は、受講料免除といたします。

#### ■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

- ・新着記事 A1.理屈編 4\_4.who : 空間の内と外(4/16公開)  
[http://nanoni.co.jp/juku/a14\\_4/](http://nanoni.co.jp/juku/a14_4/)
- ・新着記事 A1.理屈編 4\_5.where : 空間の同じと違い(4/16公開)  
[http://nanoni.co.jp/juku/a14\\_5/](http://nanoni.co.jp/juku/a14_5/)

#### ■オンラインまつむら塾：まつむら塾の演習をオンラインで体験できます。

- ・事業目的の作り方(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/m-juku01>

現在：RAM 会員 3 名、ROM 会員 0 名 (定員 30 名)

- ・倒産覚悟の経営のススメ(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/matsumuratakuya>

現在：会員 8 名 (定員 30 名)

.....

### 4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 4/24 ○自宅作業日

(火) 4/25 ○午後から笑恵館で面談可  
17-19時 ★笑恵館クラブ運営会議

(水) 4/26 ○作業日

(木) 4/27 ○終日笑恵館作業  
18-21時 ★まつむら塾(笑恵館)

(金) 4/28 ○午後から笑恵館で面談可  
19-21時 ★カプラー起業交流会(三茶)

(土) 4/29 ○作業日  
11-12時 ★ふくふくのいえ お披露目会(喜多見)

(日) 4/30 ○休業日

■その後のイベント

- 5/09 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議
- 5/09 17-19 時 ★笑恵館クラブ理事会
- 5/11 18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)
- 5/12 19-21 時 ★カプラー起業交流会(三茶)
- 5/13 10-15 時 ★ニッチ大学② (さくまさんち)
- 5/16 16-18 時 ★笑恵館を学ぼう
- 5/16 18-20 時 ★笑恵館・持ち寄り食事会
- 5/23 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
- 5/25 18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)
- 5/26 19-21 時 ★第 18 回 解決しゃべり会(笑恵館)
- 5/28 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携 帯 090-9830-3669 [taku8823@ezweb.ne.jp](mailto:taku8823@ezweb.ne.jp)

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>